

鉄骨加工業概論・工場見学の実施

6月6日(火)14時から(株)岸本建設工業で日本溶接構造専門学校の講座の工場見学が行われた。参加者は鉄骨生産工学科2年生5人と引率教員、全構協の千田部長も加わった。工場概要の説明の後、講師として岸部、石井、小原各氏が受検者、設計、ゼネコンの役割を演じて原寸検査並びに製品検査のデモンストレーションを行い、確認の重要性や孔から孔の寸法の取り方などの質疑応答を見守った。その後資料置き場、設計室を見学し、工場に降りてから材質、粗さ、開先、膜厚などの各種検査に立ち会い、希望により入熱パス間温度管理の実際を見学し、17時半に終了した。その後は寒川町で懇親会を催した。



役員会だより

- 6月22日(木)15時30分に組合事務所で開催。
- ・今年も青木先生を囲んでの理事との技術懇談会を9月に開催することに決定した。
- ・秋の合同支部会での研修会について協議し、技術委員会に講師選定等一任となった。
- ・経営対策委員会から神奈川県組合員の年間鉄骨生産高調査結果は昨年並みの51,710トンの報告があった。詳細は9月号で掲載する予定。

横浜市予算要望自民党ヒアリング

6月15日(木)14時20分から横浜市議会棟小会議室において横山幹事長、鈴木政調会長など出席のもと澤田支部長、加藤相談役、辻、菅原理事が公共建築工事での鋼構造の積極採用、法定福利費の支払いの徹底について要望した。議員からはRCと比較してのS造のメリット、鋼材の需給見通し、若者と女性の活用の現況などの質問があり、加藤相談役を中心にやり取りがあった。



青年部 <報告>

6月10日(土)16時より中小企業センターにて第27回定時総会が開催されました。司会の定足数を満たしているとの報告により田中会長の挨拶があり、7月13日に全構協と各県青年部代表者との意見交換会が予定されているとのことでした。議案の審議に入り、1号議案、2号議案が承認され、3号議案では青柳会計監査の卒業に伴い後任に中塚幹事の就任が決定し、最後に岸部理事長にご挨拶をいただき閉会しました。その後北京飯店に会場を移し、和やかな雰囲気の中懇親会も終了しました。[佐々木]



5月27日(土)14時からオオクラ千葉ホテル(千葉市)で開催された全青会関東ブロック協議会通常総会は議事は滞りなく終了し、その後の懇親会では来賓の稲森全青会会長、岸部関東支部長、栗原千葉県鉄骨工業会理事長にご挨拶をいただき、盛会でした。[鈴木]



関東支部「建築鉄骨超音波検査技術者・建築鉄骨製品検査技術者学科講習会」開催

7月に行われる建築鉄骨超音波検査及び製品検査技術者学科試験の受験対策としての講習会は全構協関東支部により今年も埼玉建産連研修センター(さいたま市南区)において開催された。

6月9日(金)、10日(土)で開催された超音波検査技術者講習会は、初日は青木敏三、上平綱昭両講師により鉄骨工事、設計図書及び超音波検査の概要と品質管理の基本と検査規準の解説があった。二日目は溶接の知識と主として設計図書等の演習が行われ、最期に80分間の模擬試験とその解説が行われた。受講者は145名で女性が1割を占めた。

6月16日(金)、17日(土)には製品検査技術者講習会が開催された。初日は検査概論、鉄骨構造・加工、測定要領などの解説で、羽石良一、青木敏三の両講師が担当した。二日目は青野弘毅、金谷登両講師により検査計画・報告、90分間の模擬試験とその解説が行われた。受講者は145名で女性が1割を占めた。

